



## «医療DXのユースケース・メリット例»

- 1 救急・医療・介護現場の切れ目ない情報共有**
- ✓ 意識不明時に、検査状況や薬剤情報等が把握され、迅速に的確な治療を受けられる。
  - ✓ 入院時等に、医療・介護関係者で状況が共有され、より良いケアを効率的に受けられる。
- 2 医療機関・自治体サービスの効率化・負担軽減**
- ✓ 受診時に、公費助成対象制度について、紙の受給者証の持参が不要になる。
  - ✓ 情報登録の手間や誤登録のリスク、費用支払に対する事務コストが軽減される。
- 3 健康管理、疾病予防、適切な受診等のサポート**
- ✓ 予診票や接種券がデジタル化され、速やかに接種勧奨が届くので能動的でスマートな接種ができる。予診票・問診票を何度も手書きしなくて済む。
  - ✓ 自分の健康状態や病態に関するデータを活用し、生活習慣病を予防する行動や、適切な受診判断等につなげることができる。
- 4 公衆衛生、医学・産業の振興に資する二次利用**
- ✓ 政策のための分析ができることで、次の感染症危機への対応力強化につながる。
  - ✓ 医薬品等の研究開発が促進され、よりよい治療や的確な診断が可能になる。